

○5番（山口良広君）〔登壇〕

おはようございます。ただいま議長より登壇の許可を得ました5番山口良広です。どうぞよろしくお願ひします。今回の未曾有の東日本大震災、それに加えての福島第一原子力発電所の被害、この被災で亡くなられた皆様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。また、被災地の皆さんが一日でも早く復旧し、もとの生活に戻られることを心よりお祈り申し上げます。

さて、私は武雄市市議会議員として震災復興に何ができるのか、私なりに考えました。そのためには、「頑張れ日本、頑張ろう武雄」を合言葉に1円でも稼ぎ、国民としての義務である税金として納税し被災地の財政支援をすることも、遠く離れた武雄市民としての震災復興への協力と私なりに考えました。

そのためには、第一に企業活動が活発になること。それには、そこで働く皆さんが快適に通勤できること、住みよい住宅環境、そして子どもたちが安全・安心で生活する道路整備ができることが、元気で安心できる企業活動を支えると思うのです。

次に、観光です。

今、日本への観光客は激減しているといひます。でも、秋ごろからは活発になりそうです。ハウステンボスが運営する上海長崎航路、それに上海、博多、神戸、韓国釜山を回る東アジア定期航路と世界の豪華客船による航路開発が進められています。そんな客をどう武雄に宿泊させるか。

昨日、市長は御船山観光ホテルの竹林亭が、楽天での泊まってみたい宿で日本一になったと。武雄がまた元気になりました。そんな観光政策、それに元気な農村、私の周りにも緊急雇用対策で働く農村青年がいます。彼らが農業人として一生の仕事として働く農村の建設、それらを目指し、私なりの視点で朝日町の例をとりながら、武雄市全体に言えることと思ひ、私なりに一般質問していきたいと思ひます。

まず、道路行政です。

国道498号線バイパスの進捗状況と朝日町内区間の工事予定がどうなっているのか、お尋ねしたいと思ひます。

○議長（牟田勝浩君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

おはようございます。御回答申し上げます。

若木バイパスにつきましては、平成23年度末で37%の進捗ペースでございます。

なお、御指摘の朝日町の計画についてどうなっているかということでございますが、これにつきましては、若木工区が終わってからということの回答になっています。しかしながら、今回、武雄北方インターの工業団地が売りに出されます。また、大崎交差点の渋滞問題、さらには北方町のまちづくりの問題がございますので、この問題につきましては国道498号期

成会を通じまして、計画の発表でもよろしいですので、そういう点で積極的に要望をしてまいりたいというふうを考えております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

若木が済んで北方あたりが中心になって、その合い中の朝日はちょっとこう、あんまり期待されないというふうなことで解釈していいわけですかね。（笑い声）国のことでありますので、この点はぜひいいものができるようお願いしたいと思います。

ところで、次に、武雄北方インター工業団地が、さきの2番議員でもありましたように、進んでいるわけです。そんな中で、武雄市民、とりわけ武雄町内や朝日町内からの通勤コースはどう考えているのか、お聞きします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

通勤コースについてお答えをします。

今基本的に、先ほど部長から答弁があったように、大崎の交差点というのは鋭角の渋滞でありますので、これをきちんと拡幅をしていくということが、まずこういうオーバーランをするというのが第一。で、実際今、国道34号線のバイパスについては、もう工事が始まっておりますので、それを私たちとしては強力に推進していくということがまず第一。

第二については、先ほど若木工区の話がありましたけれども、これを遅滞なく、おくれなく進めていくということが2つ目。

それで、議員、朝日のことば考えとらんわけじゃなかとですよ。やはり道路は始点と終点というのがきちんとして、そこの真ん中というのがあるとさらに進むと思いますので、ぜひ積極的にね、道路をこういうふうにしていくと。どうろこうろじゃなくてしていただければありがたいと、このように思っております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

今、大崎のコース、国道34号バイパスを改良していくというふうな報告がなされたわけです。しかし、今の現状を見ますと、最短コースと考えますと、今ありますオムロンの会社への通り道から農道を通るコースが考えられるわけです。

今、生まれは農道であっても市道になっております。だれがどう通ろうと文句を言うことはできませんけど、この農繁期の時期、田植えのころになりますと、大型の田植え機械や代かき用の大型のトラクターが通る道に通勤の車が前から後ろから、それにどこかで待たない

と離合されない状況です。

それに工業団地でも企業が誘致されますと、武雄町内、朝日町内からの通勤を考えられますと、どうしてもこの道が渋滞するんじゃないかと思うわけです。ぜひ、この辺の真ん中を通るコースというものを、どうにか改良工事、新築道を考えられないかお尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

石橋まちづくり部長（「何で農道ばまちづくり部長が答弁すると」と呼ぶ者あり）（発言する者あり）

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

御指摘の道路でございます。これは確かに市道になっておりますが、現況を見てみますと、農業的な利用形態になっているというふうに思います。

それで、私たちから見てみますと、できるだけ一般車両を排除したいと、そういう路線じゃないかなと考えておりますので、御指摘の道路につきましては拡幅等の整備は今のところ考えておりません。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

私も現実、その通行の数あたりを数えたことはありませんけど、結構な数の車が朝日町内から国道498号線へのバイパス的な短距離で行ける道としての活用がされております。そんな中で、農業用だからということとそこをとめるということは絶対できないと思うわけです。ぜひ、この問題は今でもトラクターやら田植え機が通る中で、迂回道路として車が通っているわけです。

今は計画はありませんかもわかりませんが、ぜひ検討されて現場の状況を見てもらうということは大事なことと思います。そして、ぜひ今、朝日町内や武雄の川良とかあちら方面からの通勤の方を見ますと、どうしてもあそこを最短距離として通る方がふえると思います。それらを考えて、将来的にもぜひ検討されていくことを期待したいと思います。ぜひよろしくお願いします。（「ちゃんと県の計画のあろうが」と呼ぶ者あり）どうなっているかを答弁はできますか。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

私は、道路を新たにつくるのは反対であります。やはり環境が第一。それとやっぱり我々は農業立県でありますし、農業を大切にするという意味からすると、あそこに道路が通るといのは、どうしても私は反対です。

その上で私が大事だと思っているのは、やはり先ほど答弁をしましたとおり、既存の道路

の拡幅等で対応するのはそれで、今あるものを活用しましょう。

それと、どうしてもそれで無理ということであれば、これはちゃんと数字を出します。実際、国道498号のときにも、これは牟田議長があそこに座っておったときに、道路調査をしてくださいということで、例えば1日何台とかというのを出して、やっぱりこれは拡幅じゃなくて新たにつくらんばいかんというふうになったわけですね。数字が一番物語ると思うんですよ。ですので、今後、その必要性があった場合には、我々のこうすべき論ではなくて数字できちんと判断をしたい。

私は皆さんたちのおかげでね、吉川議員さんたち、良広さんたちのおかげで朝日小学校から川上に抜けるほうというのは、結構歩道も広がったじゃなかですか。あそこに私は道路を、バイパスを、迂回道路をつくって、そこに車がどんどん入ってくるということを考えたときに、あそこは大事な通学路なんですよ。ですので、そういったところも勘案して、やっぱり朝日の子どもたちのためにも、そういう点をやっぱり配慮すべきだと思っております。

ただ、御指摘については、交通量がふえた時点でね、どうしてもしなければいけないといったときは費用対効果も含めながら、それは進めていきたいと、このように考えます。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

ぜひ、私はこの問題は今後、工業団地の誘致とともに大きな問題になってくると思います。きょうが出発点として数字的なデータが検討されて、何らかの通勤手段として検討されることを期待したいと思います。（「そうだ」と呼ぶ者あり）

次に、市道黒尾繁昌線の改良工事と安全対策についてお尋ねします。

23番黒岩議員のお骨折りにより、地元住民の念願だった市道の改良工事が始まりそうです。今後どのように進み、いつごろ完成するのかお尋ねしたいと思います。

○議長（牟田勝浩君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

御指摘の路線につきましては、黒尾の山口区長さんに大変お骨折りいただきまして、東京におられます地権者の方と連絡がとれました。

そういうことで、御了解いただけるものということで今進んでおりまして、できれば今年度に用地買収と家屋の移転をお願いしたいと。現在、まだ住んでおられますので、移転等に若干時間がかかるとお思いますので、本工事につきましては次年度を予定しているところでございます。

それから安全対策についてでございますが、今、線形が非常に悪うございます。これをできるだけ直線的にしたいというふうにお考えしておりますので、見通しは格段によくなります。

なお、歩道につきましては専用歩道は設けませんが、路肩等を利用いたしまして安全対策としたいというふうに考えております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

今、私が今から指摘したい歩道のことまで話が進んだわけですけど、（笑い声）地元黒尾区民はS字カーブの解消というものを以前から願っていました。そのS字カーブが解決すると、車の交通量の増加とスピードアップが心配されます。そのときは、ぜひ歩道の建設をお願いしたいということで地元では圃場整備のときにその歩道の用地を確保し、また黒尾の拠点施設ができるときには、歩道の用地は確保して公民館を建設しようという一生懸命の努力で私たちは歩道、子どもたちの安全というものを考えております。

そんな中で、今回、S字カーブが解消される中で、今から基本設計がなされると思います。この部分だけでも結構ですので、歩道の計画はないかお尋ねします。お願いします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

確かに、私が小さかったときに朝日第二保育所に元気に通園ばしよったとですね。そのときに、私も何回かあそこではね飛ばされそうになったとですよ。そういう意味で、黒岩議員が30年ぶりぐらいになったということで私からも感謝を申し上げたいと思うんですが、その中でね、今、第二保育園もうないじゃないですか、もう朝日保育園になったということで。実際、あそこに小さな子どもたちがどれぐらい行きよるかということ考えたときに、実際、子どもたちがどんくらい通りよるかというのをちょっと見させてください。朝日小学校に行きよる子どもが大体どんくらいあそこに行きよるか、あるいは武雄中学校、青陵中に行きよる子がどんくらいおるのかということも含めて、実際、人の歩かん歩道はつくったらいかんですもんね。ですので、それは見させていただいて、その上で、ああこれは絶対必要だということを判断した場合には、それは山口区長さんたちとも協調してやっていきたいと思っていますので、実際、今、計画はあるわけじゃありませんけれども、実際あそこがのいたときに、S字カーブのところの御自宅がのいたときに、そういったことも含めて考えさせていただければありがたいというふうに思っております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

今、私はこの区間だけと言ったのは、この基本設計、基本工事があるときには、もうその横には移転の住宅が建つわけです。横に住宅が建ったら、そうしたらどうしてももう歩道の

建設というものも不可能になると思います。そう考えますと私は、それは数字的には少ない数かもわかりません。しかし、今からの道路行政というものは、歩道があつて安心・安全に子どもたちが、地域の方が歩くような安全対策、これも私は今からの安全対策だと思っていますので、再度検討されることをお願いしたいと思います。ぜひ、昨日の宮本議員の下西山地区の道路整備ではありませんけど、用地さえ確保しておられたらどうにかなるよという声もありました。私たちの黒尾では、用地の確保というものを最優先でこの歩道整備を検討しております。ぜひ、そういうふうな形で今後、この黒尾地区でなくいろんなところで道路整備が進むと思いますけど、歩道整備も兼ね備えた道路行政というものを検討してもらうことを期待しています。

次に、朝日町民からの声ですけど、新武雄病院に対する交通アクセスをよくしてくれというお願いです。

朝日町内からは、川良のAコープを經由していくか、鳴瀬分道、そして二俣バイパス、二俣交差点、そしてバイパス経由となります。一刻一秒を争うときに、もっとスムーズに行けるような道路整備をお願いしてくださいという声がありました。その点、よろしくお願ひしたいんですけど。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

いや、私は、朝日町民は恵まれていると思いますよ。二俣のところからダイレクトにほら、新堀から抜けてですよ、そのまま真っすぐに行かるっけんが、何の必要性があるとかなくて思ふわけですよ。

ただ、ここで問題なのは、そこに至るまでにそれのようわかっとなんせん人たちもおんさあわけですね。そのときに、私も今ジョギングをしていますけれども、一番ちょっとネックに思ったのが、武雄自動車学校なんですよ。武雄自動車学校のあの踏切の部分、あの部分というのは実際、車両でほとんど入れんですもんね。そいけんがようわからんで、もう慌てふためいて行きんさったときに、二俣のほうじゃなくてこっちの自動車学校のほうに行きんさった人たちのことは、これはちゃんと目配りをせんばいかんと思ふとですよ。

ただ、今、踏切部が3.15メートルしかなかわけですね、ものすごく狭い。ですので、新幹線の複線化の計画にあわせてですね、なるべく国土交通省のお金ば引っ張りながら事業にあわせて整備計画は、これは検討したいと思っています。

ただ、朝日の皆さんたちは本当に恵まれているということだけは、重ねてお話をさせていただきたいと、このように思っております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

私も、今市長が言いましたのであれですけど、自動車学校のところは3.15メートルと厳しい踏切です。ぜひ新幹線の複線化の中で拡張されて、あの道路が充実すればもっと安心・安全にバイパスとの通行ができると思いますので、その点、長い運動かと思いますが、よろしくをお願いします。

次に、住宅政策についてのお尋ねです。

今回、新武雄病院がバイパス通りにオープンしました。それと同時に武雄北方インター工業団地も姿を見せ、あとはどんな誘致企業が来るか楽しみです。そうすると、そこで働く皆様の住宅問題です。

そこで、お尋ねします。市内における県営、市営住宅の利用状況はどうなっているのか、それと朝日町中野にあります雇用促進住宅の利用状況はどうなっているのか、お尋ねしたいと思います。

○議長（牟田勝浩君）

石橋まちづくり部長

○石橋まちづくり部長〔登壇〕

私のほうで市営住宅、県営住宅のほうをお答え申し上げます。

市営住宅では約900程度ございますが、今ほとんど満室でございます。これは和田団地の関係で政策空き家を残しておりますからそういう関係でございまして、お待ちの方が市営住宅では47名の方が今待機の状態でございます。

それから、県営住宅につきましては4団地ございますが、待機者は17名というふう聞いております。

○議長（牟田勝浩君）

山田つながる部長

○山田つながる部長〔登壇〕

雇用促進住宅ですけれども、雇用促進住宅につきましては80戸中46戸が入居をされているということで、57.5%が入居されているという状況でございます。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

今、市営、県営住宅では100%近い、そして待たれる方が市営では47名、県営でも17名おられる。しかし、その近くにある雇用促進住宅では80戸のうち46戸が入居があり、34戸は空き部屋となっているというふうな報告がなされたわけです。入居率が雇用促進住宅は少ないのはどう考えられますでしょうか、お尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これはね、雇用促進住宅を持っている機構ですよ。機構はけしからんと思いますよ。やっぱり国民の、例えばいろんな基金とかでつくっておるわけですね。我々は、例えば市の財政で、国の補助金もいただきますけれども、例えば市営住宅であったり県営住宅であったりしたときには、なるべく困っている方々に対して入れようとやっぱり思うわけですよ。その努力のなかわけですよ、ここは。もう解体です、もう。

ただ、1つ思えるのは、震災対策でやっぱりどうしてもせんばいかんということで、政策対応として雇用促進住宅というのは実際宙ぶらりんになっておるところは、そこに来てくださいということになっておることは事実なんですね。ですので、今どういう方向に行くかというとは不透明です。

そういう意味で、私とすれば、まずボール、球は雇用促進の機構のほうにありますので、一たんもうちゃんと決めてくださいと。ただ、私たちが聞く限りでは、国の方針として平成33年度までに全部譲渡または廃止ということが決まっていますので、もう少し時間をかけて考えたいと思っています。

ちなみに、佐賀県内の雇用促進住宅は全体で14住宅あります。有田住宅はもう売却済み。伊万里第二、小城は廃止決定ですね。ですので、武雄はそういう意味ではまだ決まっていませんので、要するにもう少し地域の皆さんの声とかいろんなのを聞きながら考えていきたいというふうに思っています。

ただ、我々が買い取るということになると、これは市民の皆さんたちの税金から買い取るということになるんですね。本当にそれでいいのかということと、もう1つは、あそこはエレベーターもなかわけですよ。エレベーターもない。ですので、もしそれを買った場合はエレベーターまでつけんばいかんわけですね。これも市民の税金でつけんばいかんことになるわけですよ。その辺もシビアに考えていきたいと、このように思っております。

すみません、耐震もちよっとよくわかっていない状況なんですね。ですので、そういったことも含めて、また方針を決める前に議会とよく相談をしたいと、このように考えます。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

雇用促進住宅が私の近くにあるわけですけど、施設としてはもう古くなるわけですけど、そこに住んでおられる方は共同で月1度の清掃作業をしたり、いろんなお祭りをしたりしてコミュニケーションをとられております。また、この地域は荒踊りの地域でございまして、子どもたちが荒踊りの踊り子として参加したり、御父兄の方も参加したりと、すてきな住宅です。そして、ここから何年か住んだ後は地元に住宅を建てられて、固定した住民にもなら

れております。ぜひ、機構の問題もありましようけど、その点をうまくとりながら、普通の住宅に入られない住民の方がこちらにでも住まれて、武雄の住民として生活されるような住宅環境をつくってもらいたいと思います。

次に、観光政策についてです。

上海と長崎、ハウステンボス間の定期航路開設と、この前新聞報道に載っていたわけです。この定期航路開設とはどんなものかお尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

森営業部長

○森営業部長〔登壇〕

先ほど上海と長崎を結ぶ航路というふうなことで質問がありましたけれども、ことしの11月上旬からハウステンボスのほうが上海と結ぶ航路を開設するというので発表されております。第1便として平成23年11月の初旬に1往復の限定の試験運航というふうなことになっておりますし、第2便以降につきましては旧正月前の来年1月下旬から3月までというふうなことで週一、二回の往復の定期便を営業運航したいというふうなことになっております。また、その後、本格的な定期航路の開始については、平成24年3月以降の早期にまた週3便程度を運航したいというふうなことになっております。

航路としましては、長崎市、長崎港ですけれども、そこと上海の国際クルーズターミナルを約20時間で結んで、片道大体7,000円から8,000円程度というふうなことになっております。

船舶は延長192メートル、幅が29メートルで総トン数が3万412トンと、最大約1,700人を収容する貨客船というふうなことになっております。船内では、九州各地の名産品のショップ、あるいは武雄や嬉野温泉産物や歴史を映像で紹介されるというふうなことになっております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

来年3月からは週3回、最大搭乗員1,700人が長崎へ来るわけです。ぜひ、この客を武雄まで足を延ばして、昼間の食事、お土産、そして宿泊につながるようになれば観光産業の発展につながると思います。武雄としてどんなことを考えておるか、お尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これは一つの大きなチャンスだと思っております。

ことしの3月にハウステンボスと周辺自治体の7市2町、佐賀県からは武雄市、嬉野市、伊万里市、有田町、長崎県からは佐世保市、平戸市、西海市、松浦市、波佐見町が連携して、

これは私から呼びかけましたけれども、そういう集合体をつくりました。観光PRだけではなくて、観光ルートや観光資源の開発に共同で取り組んでいこうということ。そして、国内外からの観光客誘致を目指すハウステンボス周遊観光協議会という組織を立ち上げました。その中で、我々としてはこれを受けて、武雄市でもハウステンボスと連携して観光誘客事業を行うハウステンボス連携誘客プロジェクトを発足させています。取り組む主な事業としては、周遊ツアーバスですよね。レトロバスという、バスの中身はすごい大事です。それをハウステンボスと共同で夏休みから予定をしています。

ここから先がポイントなんですけれども、ちょうど6月の頭に私、長崎県議会に講演に行きました。それは、今、議員の皆さんたちにボランティアにぜひ、被災地ボランティアに行ってもらいたいということで、長崎県議会が6月20日以降行くんですね、実際。これは陸前高田市なんですけれども、15名か16名だそうです。これもチーム武雄のやっぱりですね、それを受けてやっぱり行くということで、それは敬意を表したいんですが、その中で、実はその前に長崎県の藤井副知事が緊急に僕に会いたいということで会ったときに、この定期航路のときにぜひ僕に乗り込んでほしいと。「じゃ、私は何のサービスばするぎよかですか」と言うたらですね、実は佐賀のがばいばあちゃんだと。中国では、地下で結構もう放送のされとるごたあですもんね、どういう形かわかりませんが。あるいは台湾もそうなんですけれども、本も含めて佐賀のがばいばあちゃんというのが物すごくやっぱり広まっているということなんです。

それで、「実際そこに入って行って、「佐賀のがばいばあちゃんのふるさとです」というふうに言うてくれませんか」というふうに藤井副知事から言われたわけですね。で、「いや、佐賀のがばいばあちゃん、あれは佐賀市ですよ」と言うたぎ、もうみんな武雄と思うとるて。それはそれでよかけんが、そうしてくれということで、実際、温泉を持つ強みからして、長崎だけではとても引き受け切れないということが長崎県の副知事の見解なんです。ですので、よく長崎県と連携をして、私も出不精なのが私の困った性格の一つなんです。もう実際ですね、私も中国語を勉強して「ニーハオ」、そこに乗り込んで行って、実際、顔を見すつとが一番と思うんです。トップが行ってどンドンやっぱり来てくださいます。これは古川知事とも組んでやります。ですので、そういう意味では本当に人を引っ張ってこようということを考えています。

実際、これは観光庁の溝畑長官からも、ぜひこの航路の開設に当たっては武雄市も全面的に協力をしてほしいという要請を受けていますので、これを観光の一つの柱に持って行って、長崎から中国が航路で結ばれるわけですよね。そこで、お越しいただくということで力を尽くしていきたいと、このように思っております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

このチャンスというものはビッグチャンスになると思います。ぜひこれを温泉通りや保養村の宿泊施設に泊まれ、そして武雄にある武内の一本桜、若木の大楠などの武雄三樹物語の大楠、杉岳大聖寺、山内の黒髪山と武雄は自然がいっぱいです。

それと同時に、私はこの飛龍窯、昨日、同僚議員の古川議員が話していましたように、飛龍窯祭りに1万2,000人が来たといえます。この明かりのイベント、これをお客が少ない2月、3月の時期にロングランとしてやることはできないか。それは確かに、この飛龍窯の場所でやるか、それとも武雄の温泉通りでやるか、仕掛けはいろいろ考えられるわけです。

そんな中で、武雄の金曜、土曜日の週末にそれらを見るようなお客、ぜひ呼び込んでもらいたいと思うわけですが、何かそんな仕掛けは考えられませんかでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

森営業部長

○森営業部長〔登壇〕

議員の提案ですけれども、今、武雄市には大きな灯籠が1,000個、それから小さなのが2,000個ほどありますけれども、この分を有効に活用して雰囲気をつくり出すというふうなことは可能かとは思いますが、市が直接するのではなく、地元の盛り上がりをもってやっていきたいというふうに考えていますので、地域の方たちに話はつないでいきたいというふうに思っております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

夜のライトアップというものは、その灯籠1つの中に感じるわけです。ぜひ、そんなことが今、ことし統一した旅館組合や飲食組合など市民の皆さんが実施して観光地づくりをできるようなまちづくりというものが大事だと思います。

次に、それと同時に体験型、大事だと思います。この前の新聞にも載っていましたが、廣福寺での座禅が載っていたわけです。いいアイデアだと思います。ほかにも陶芸など、また農業と農産加工などいろんな体験が考えられると思います。

私は以前一般質問でも言いましたように、滋賀県の長浜の近くで京野菜、コマツナのようなものの野菜を種まきをして収穫作業をやり、その後、農産加工場で小さく切って浅漬け等で漬物にするような体験コースを体験したわけです。我々農業人から見れば「こんなものがや」と思うごたつことですが、滋賀の長浜の近くの人、京都や大阪の人には大変新鮮に見られて大いに盛り上がっているんですよという話も聞きました。

また、唐津加部島の甘夏ゼリーです。この前行って聞いたんですけど、今、中学生の修学旅行の体験コースで人気だそうです。甘夏ミカンの収穫とゼリーづくりです。そして、でき

た製品を製作した方に送り届けるんだそうです、実費でですけど。それが、またリピーターになり、新たなお客さんがどんどんふえたと聞いております。ぜひ、そういうふうな体験コースというものが武雄で考えられているのか、お尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

いや、私も山口良広議員の質問を踏まえていろんなことを、武雄市内の例えば文化であるとか芸術であるとか農業をされている方であるとか、いろんな方々と話をして協力を得て、今、武雄の匠という制度を始めました。今、実際、体験型が一番、通り一遍倒の観光よりも体験型のほうがリピーターがふえるという側面、そして宿泊数がふえるというメリットがありますので、体験型の観光というのを積極的に進めていこうと思っています。

メニューについては、今、営業部の観光課の中を中心として市民協働で開発をしておりますけれども、それをメニューとして、またきちんと出していきたいというふうに思っています。

それともう1つ大事なものは、周遊型です。これも山口良広議員の御尽力で三樹参り等々されているじゃないですか、ライオンズも含めてね。されていて、その周遊型というのが1つの大きな観光資源になるということでもありますので、これは北方、山内も巻き込みながら、そういう周遊コースを幾つかつくって、体験型と周遊型を2つの柱として観光のこれからのあり方をきちんと出していきたいというふうに思っております。

いずれにしてもおかげさまで、私自身も今、取材がもう殺到しています。そういった中で、ぜひ市民の皆さんたちをお願いをしたいのは、もう私は広告塔になります。ですので、私が今言うことによって、今全国に波及をできる素地ができましたので、ぜひ私をそういう意味で使ってほしいと思っております。

いずれにしても、観光というのは武雄にとっては本当に必要不可欠な産業でありますし、財産でありますので、市民の皆さんたちと一緒に、今回、武雄の匠という話をしましたけれども、進めてまいりたいと、このように考えております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

ぜひ、よろしく申し上げます。

次に、武雄市内物産のカタログ製作についてです。

昨年12月の一般質問で武雄市内の物産を一堂にそろえたギフト、お土産選びの選考になるようなカタログをつくったらどうかと提案しましたが、その後どうなっているのかお尋ねしたいと思います。

○議長（牟田勝浩君）

森営業部長

○森営業部長〔登壇〕

現在、カタログの製作につきましては、事務レベルで各種市内の商工業者、あるいは観光、農業と一体となったところからの資料の収集を行っております、ICTを活用した販売もできないかというところまで含めて、今検討をやっているところであります。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

まあカタログだけつくってもだめですよ。ねえ、だれが読みますかね。ですので、私が注目しているのはフェイスブックなんですね。フェイスブックが今、全世界で6億人です。日本国内では今300万人か400万人ですね、まあこれから爆発的にふえると思うんですが、フェイスブックの中に、市のホームページは7月中旬にフェイスブックに一本化します。これは、今までどおり見れるんですよ。今までどおり見れるんですけども、より共有性と双方向性が強まります、フェイスブックの場合は。

そこに、今考えているのは、フェイスブックに入って、もうカードさえ登録しておけばね、そこで自動的に今のアマゾンと同じように武雄の物産が買えるというふうにしたいんですよ。今、レモングラスでもインターネットの販売等、いろんなところでやっていますけど、これ、なかなか進まないのは、物すごくやっぱり難しいんですね、決済が、難しいんですよ。ですので、そうでなくて何でアマゾン——書籍のアマゾンですね、僕はちゃんと地元の本屋で買いますからね。アマゾンでこれが進んだかということ、もう今クリック1つでもう本が買えるんですね、実際ワンクリックといって。ですので、こういう簡単な物すごく、ボタン1つで御高齢者の方々でも、もう携帯からでもできるように、前田副市長にもできるようにボタン1つで買えると。

そうなってくると何がいいかということ、我々としてはどなたさんが買っているかということすらわかるんですよ。ですので、この広告が足りているとか足りていないとかということまで含めてできますので、ぜひ山口良広議員が進めている、我々、物産の委員会で進めていますけど、そのカタログとフェイスブックと組み合わせてやっていきたいというふうに思っております。これは、もう全国で恐らく初の取り組みになると思いますし、あしたどこかの新聞に載るかもしれませんが、そういうふうに進めていきたいと、そういうふうにあります。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

ぜひ、市内の物産が、どんな形であれ販売が促進につながり、所得向上につながる道ができることを期待したいと思います。

次に、農業問題です。

今回、ストックマネジメント事業として、農業用ため池の整備が計画されているようですが、どんな事業なのかお尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

森営業部長

○森営業部長〔登壇〕

ストックマネジメント事業といたしますのは、国や県の土地改良事業でつくられた農業用水利施設の長寿命化を図るための施設の計画的な補修、あるいは更新に係る事業ということで、農業者の費用負担の軽減を図って農業生産の向上に寄与するというふうなことであります。

武雄市では、繁昌ダムが築後33年を経過しておりますし、庭木ダムが16年の経過をしております。この2つがこの事業の対象というふうなことであります。ダムのそういった電気設備や機械設備、あるいは水利設備等の修理、あるいは更新を行う事業となっております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

その場合の地元負担等も発生するわけですか。

○議長（牟田勝浩君）

森営業部長

○森営業部長〔登壇〕

農業用ダムということで、利水を目的としたダムでありまして、その分につきましては地元負担が発生するというふうなことであります。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

私は繁昌ダムにしても庭木ダムにしても六角川の上流に位置して、下流部での水害対策、この前の5月27、28日の豪雨では大変な目に麦作農家は橘地区でも発生したわけですから。それらを考えますと、梅雨初期ならば、その時点で繁昌ダムやら庭木ダムの水をちょっと落としておいて、治水容量として水害対策等にも利用できないかと思うわけですが。そのためには、治水対策としてダムののり面の切り込みやしゅんせつ等を行い、治水量を確保し、多目的なダムとして維持管理を行い、治水対策を兼ねた多目的ダムとして活用することにより受益者

負担の軽減の道が開けるんじゃないかと思うわけです。その点、どう思われましようか、お尋ねします。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これ、どこかで聞いたなと思うたら、松尾初秋議員の一般質問でおっしゃられたことがフレッシュバックしてきましたけれども、それはそのとおりだと思いますよ。ですので、いろんな多目的に使えるようにね。

これは、実際に佐賀県もそれを推奨しつつあるんですね。私も国土交通省の河川局、あるいは農水省の構造改善担当に話をしたときに、いや、これはいい話だということになっていきますので、恐らくストックマネジメントの事業がそこにつながっていくというふうに思っておりますので、これを最大限活用していきたいと、このように思っております。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

今、地域農業ため池は大正時代から昭和の戦前までに大半の堤が建設されております。その後、落水の方法など部分的な改良はなされていますけど、本格的な堤防本体の改良は余りできていません。それが漏水、すなわちどこからか水漏れしている。しかし、その改良となると多額の地元負担となっております。そこで、つい後回しになっているのが堤の改良だと思っています。ぜひ治水のためのダムとしての多目的ダムとして考えて、受益者負担の軽減につながるような運動をしてもらいたいと思います。いかがなものでしょうか。

○議長（牟田勝浩君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ダムとため池を一緒にしちゃいけないと思います。

そういう意味で、ダムの機能を持つため池という意味で私は賛成でありますので、そういうことを進めていきたいと、これは松尾初秋議員にお答えしたとおりでございます。

以上です。

○議長（牟田勝浩君）

5番山口良広議員

○5番（山口良広君）〔登壇〕

農業者は今、米、麦など農産物の価格は下がるばかりで、そんな中にいろんな負担というものがあるのです。それに高齢化が進む農村では受益者負担までして改良はする必要はない等の声になります。ぜひ、いい道を選んでもらって改良、改修ができることを期待し、

私の一般質問を終わります。